

【米田主宰の俳句】

春のパセリ

米田規子

そくそくと二足のわらじ薄氷
鳥たちの空の領分冴返る
晴天や屈みて春のパセリ摘み
三日籠りてフリージアの朝の息吹
木々芽吹き平常心のどこへやら
春の雪もの書く姿勢くずさずに
炒り玉子ほろほろあまく朧の夜
えんぴつの倒れた先の春景色
いつまでの全力疾走ひこばゆる
オムレツにケチャップするりと三月来